

中国がウクライナでのロシアの戦争に対処するのに苦労している理由

中国はロシアの最も近いパートナーの1つですが、ウクライナの侵略を支援することは、北京と裕福な民主主義国との関係を深刻に傷つけ、侵略に反対する中国市民を疎外することになります。

中国はロシアのウクライナ侵攻にどのように対応しましたか？

侵略は中国を厄介な立場に置いた。中国とロシアは緊密な経済関係を持っていますが、中国の外交政策の柱は国の領土保全を尊重することです。

中国の外務省は一連の妨害声明を発表しました。それは侵略を承認していませんが、それを非難していません。同省は、状況は複雑で制裁は無意味であり、北大西洋条約機構（NATO）を以前はロシアの支配下にあった地域に拡大することでロシアを追い詰めたため、西側が戦争の主な責任を負っていると繰り返し述べた。中国は本質的に中立であり、対話を支持することを望んでいるが、その立場は実際にはロシアの注目に値する防衛であり、中国とロシアの関係の強化を反映している。

中国はどのような利益のバランスをとろうとしていますか？

中国とロシアはお互いに最も近い主要なパートナーです。彼らの経済は補完的です。中国は製造業の力ですが資源が乏しいため、ロシアのエネルギーが必要です。ロシアには膨大なエネルギーがありますが、投資が必要であり、経済基盤の拡大に役立ちます。それぞれが深刻な人権と外交政策の問題を抱えています。お互いの問題を無視しています。中国はまた、高度なロシア兵器の主要な買い手でもあります。

中国の習近平大統領とロシアのウラジーミル・プーチン大統領は強い個人的なつながりを持っているようだ。たとえば、2人は金曜日の電話でウクライナについて話し合い、Xiは単に交渉が望ましいと述べた。Xiがプーチンを批判したという兆候はなかった。

同時に、中国は、ロシアの侵略を支援することは、米国、欧州連合諸国、日本などの主要な貿易相手国である裕福な民主主義国とのすでに緊張した関係に深刻な打撃を与えることを知っています。これらの国々との関係は、中国が1970年代に改革開放政策を開始して以来、すでにそうであったように悪化しています。中国が経済的救済を提供したり、国連安全保障理事会で拒否権制裁に同意したりするなどしてロシアを支持した場合、それらの関係を救うことは難しいでしょう。代わりに、ほとんどの裕福な民主主義国は、中国とロシアを1950年代スタイルの共産主義同盟であると見なすでしょう。これは、多くの国が中国とのいかなる形の関与も再開することをほとんど不可能にするでしょう。

このジレンマは、戦争が中国のソーシャルメディアでどのように議論されているかに反映されています。最も影響力のあるプラットフォームで、中国の上級メディア編集者であるWeChatは、米国が最終的にロシアを侵略に追いやったので、中国はロシアに対する「理解とある程度の支援」を表明すべきであるが、中国は西側諸国をあらゆるさまに挑発すべきではないと述べた。ロシアを支援する。一方、一部の中国の評論家はプーチンに真っ向から責任を負わせており、戦争はロシアの近代化の失敗を例証していると述べている。他の人々は、彼らが言ったことは英雄的なウクライナの抵抗であると述べ、一方、戦争を「不当」と呼び、ウクライナの女性について性差別的な発言をした中国人男性のコメンテーターを非難した。

中国とロシアの経済関係は制裁を無効にすることができるでしょうか？

中国がすぐにロシアに援助を提供する可能性は低いですが、ロシアが西側諸国に販売できないガスやその他の資源の長期的な購入者になる可能性は容易にある。金曜日に、ロシアの穀物輸入の制限を緩和すると発表したが、これはしばらくの間作業中であった。

全体として、リソースの流れを変えることは一夜にして起こりません。パイプラインの建設には何年もかかるため、中国は、NordStream2パイプラインによって運ばれる天然ガスなどの認可された商品を購入するために突然介入することはできません。しかし、今後数年間で、中国はロシアの資源の質問のない買い手になることによって制裁を相殺することができます。

プーチンの侵略は、台湾への圧力を高めるためにXiを大胆にすることができますか？

中国の外務省は、ウクライナと台湾は同じではないと明確に述べています。中国は台湾をその領土の不可分の一部と見なしているが、ウクライナは完全な主権国であると見なしている。しかし、より深いレベルでは、ロジックは似ています。

中華人民共和国とロシア連邦はどちらも、大規模な大陸の多民族帝国の子孫です。20世紀には、清王朝の崩壊の余波で中国がモンゴルと台湾を失いました。中国はもはやモンゴルを主張していませんが、それでも台湾を望んでおり、それを強制的に奪うことを除外していません。1991年にソビエト連邦が崩壊したとき、ロシアはさらに悪化しました。中央アジアのほとんどと、バルト三国、コーカサスの多くの地域、ベラルーシ、ウクライナを含むヨーロッパの領土を失いました。ロシアは中央アジアの奪還をあきらめたようですが（おそらく、忠実な有力者にそれらの国を運営させることに満足している）、明らかにヨーロッパの領土の一部を取り戻すことを望んでいます。

ロシアの状況は、中国のナショナリストが明確に識別できるものです。したがって、ロシアがウクライナの塊をつかむか、傀儡政権を設置して経済制裁に耐えることができれば、中国のナショナリストは台湾に

目を向け、同じことができるようになると思います。

米国は侵略に対応するために中国と協力する可能性が高いですか？

理想的な世界では、米国は中国とのハイレベルな対話を再開することができるでしょう。そうすれば、北京の将来は世界のリーダーとして、ロシアのようなエネルギー国家の独裁政権に陥ることなく、先進国と関わり、競争することを思い出させることができます。

しかし、ワシントンと北京の関係は最近の進展によってあまりにもほつれているので、これが起こるという希望はほとんどありません。他の国々がウクライナの自治を救おうとしている間、北京は側からポットショットをとることで、現在の状況はおそらく続くでしょう。